

Palja

ぱるじゃ



2026. 2 No. 203

特集

令和7年度JA八戸総代研修会



令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会(果菜・豆類)



令和7年度JA八戸総代研修会

Contents

- 令和7年度ながいも・にんにくフォーラム開催 各共進会で受賞
- 令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会(果菜・豆類)
- プロアイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」のホームゲームで農協事業をPR etc.



令和7年度ながいも・にんにくフォーラム開催 各共進会で受賞

県とJA全農あおもりは1月16日、JA十和田おいらせ本店で「令和7年度ながいも・にんにくフォーラム」を開き、「令和7年度青森県ながいも共進会及びにんにく共進会」の表彰式が行われました。

フォーラムでは近年の気候変動が及ぼす生育状況や収量品質への影響等の講演がありました。また、ながいも新品種「夢雪」、にんにく新品種「青森福雪」について県の取り組み状況及び普及に向けた情報を共有しました。

表彰式では、ながいも部門で豊川真寿さん（五戸地区）が優良賞、にんにく部門で金澤幹雄さん（五戸地区）が優良賞を受賞し、賞状が授与されました。



▲ 受賞したながいも



▲ 賞状を受け取る豊川さん



▲ 受賞したにんにく



▲ 賞状を受け取る金澤さん

2月号

ぱるじゃもくじ

令和7年度

ながいも・にんにくフォーラム開催

各共進会で受賞……………2

令和7年度

JA八戸野菜生産販売検討会(果菜・豆類)……………3

特集

令和7年度JA八戸総代研修会……………4

プロアイスホッケーチーム

「東北フリーブレイズ」の……………6

ホームゲームで農協事業をPR……………6

令和7年産ながいもコンテスト……………6

八戸市よりお知らせ……………7

マネロン・金融犯罪対策への……………8

取り組み強化について……………8

特殊詐欺被害防止に向けた……………9

ATM利用限度額の変更のお知らせ……………10

営農情報 栽培インフォメーション……………10

JAカレンダー……………12

「家の光」3月号のご紹介……………12

女性部冬期講習会……………13

活動リポート……………13

理事会だより……………13

JAのすがた……………13

東北農政局青森県拠点からのお知らせ……………14

クロスワード……………14

皆様のお声……………15

情報掲示板……………15

JA八戸管内における……………16

青森県東方沖地震の被害状況……………16

令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会(果菜・豆類)

野菜総合部会は1月15日、令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会を八戸プラザホテルプラザアーバンホールで開催し、生産者・市場関係者など105人が参加しました。



▲ あいさつをする田中副部会長

野菜総合部会の田中義深副部会長は「令和7年度産は、猛暑による高温、干ばつ等の影響から花落ちや障害果の発生が多く見られ、収量の落ち込みがあり、天候に左右された年となりました。また、競合産地でも天候不順等の影響から、数量減による単価高の販売と



▲ ガンバロー三唱をする畠山副部会長

なりました。生産面においては輸送コストの上昇や肥料・農薬の価格高騰などの影響から再生産に向け厳しい生産状況となっております。取引市場の皆様には販売価格にコスト上昇分を転嫁していただき、より安定した農業経営を継続していただけるよう、関係機関が連携を強化し、乗り切つてまいりた

い」とあいさつしました。

検討会では、市場担当者が令和7年度の市場情勢を説明。JA担当者が令和7年度の販売実績や令和8年度の販売計画等を報告し、市場に対し適正価格での販売について要請を行いました。

最後に、畠山賢寿副部会長の掛け声のもと、ガンバロー三唱で生産者・JA・市場関係機関が気持ちを一つに、令和8年度の目標達成を誓いました。

専門部ごとの生産販売対策は次のとおりとなります。

トマト

●生産対策

- ① 生産者及び作付面積の維持・拡大
- ② 栽培技術力と収量増収に向けた巡回指導の強化
- ③ 高温時の花落ちや裂果・裂皮による減収対策

- ④ トマトキバガ等への害虫対策

●販売対策

- ① 出荷規格の簡素化の検討
- ② A/D品2S・3Sの500gパック詰の継続
- ③ 市場特性に合わせた分荷
- ④ 取引市場への的確な産地情報の提供

ミニトマト

●生産対策

- ① 栽培管理の省力化による作付面積の維持・拡大
- ② 高温時の花落ちや成り疲れによる減収対策
- ③ 病害虫及び土壌病害発生による収量減収の是正
- ④ 裂果及び腐敗果の発生による品質低下対策の徹底

●販売対策

- ① 出荷規格の遵守
- ② 取引市場との産地情報交換、継続安定出荷
- ③ 消費宣伝活動の実施
- ④ 出荷規格の見直しの検討

きゅうり

●生産対策

- ① 生産者及び作付面積の維持

- ② 栽培技術力と反収格差の是正

- ③ 病害虫発生予察による迅速な指導情報の提供

- ④ 灌水チューブの普及促進

- ① 出荷規格の遵守

- ② 高温時におけるフケ果対策

- ③ 出荷資材の検討

●生産対策

- ① 生産者及び作付面積の維持・拡大
- ② 栽培技術の向上

- ③ 高温・乾燥による減収対策

●販売対策

- ① 選果選別の徹底
- ② 着色果(赤果)対策
- ③ 取引市場への的確な産地情報の提供

令和7年度JA八戸総代研修会

JAは1月16日、管内2会場で令和7年度JA八戸総代研修会を開催し、135人の総代が参加しました。

総代研修会は、総代に求められる役割について知り、JAを取り巻く環境について認識を深め共有する目的で開催し、今年で5回目となります。

若林政秀組合長は「青森県内のJA全体を見ましても、人口減少や農業者の減少といった共通の課題を抱えています。一方で、経営



▲ あいさつをする若林組合長

の健全性を保ちながら、事業の見直しや効率化に取り組むなど、将来につながる動きも進んでいます。今回の研修で、これからのJA運営のためJA八戸の現状と課題についてご理解いただき、総代の皆様には、組合員の協働の先頭に立っていただきたいと思っております」とあいさつしました。

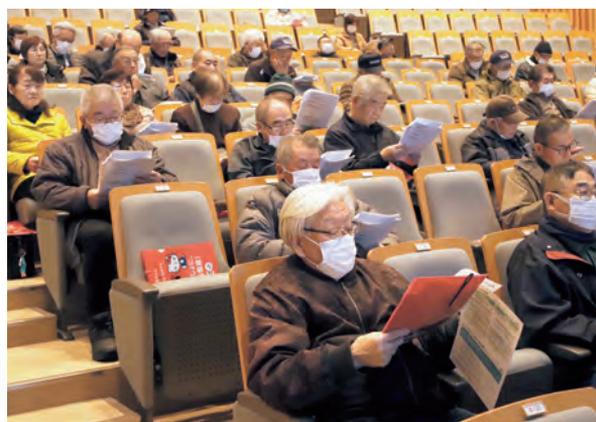
講師にJA青森中央会経営対策部の一戸和雄課長を招き、『総代会資料のポイントと青森県JAの経営状況〜総代として理解すべきJAの現状とこれからのあり方について〜』と題し講演を行いました。総代会資料の読むポイントや用語を説明しました。さらに、県内JAと各事業の状況を比較しました。



▲ 講師の話に耳を傾ける総代



▲ 講演を行う一戸課長



▲ 資料のポイントを学ぶ総代

質問事項・アンケートの内容を一部ご紹介いたします。

【質問事項】

- Q 組合員数を確保する為には、どのようにしていけば良いかアドバイスをお願いします。
- A 准組合員のサポートが、継続して必要かと思えます。他県では新規就農者を、臨時雇用者として仕事をしながら就農支援をサポートしています。

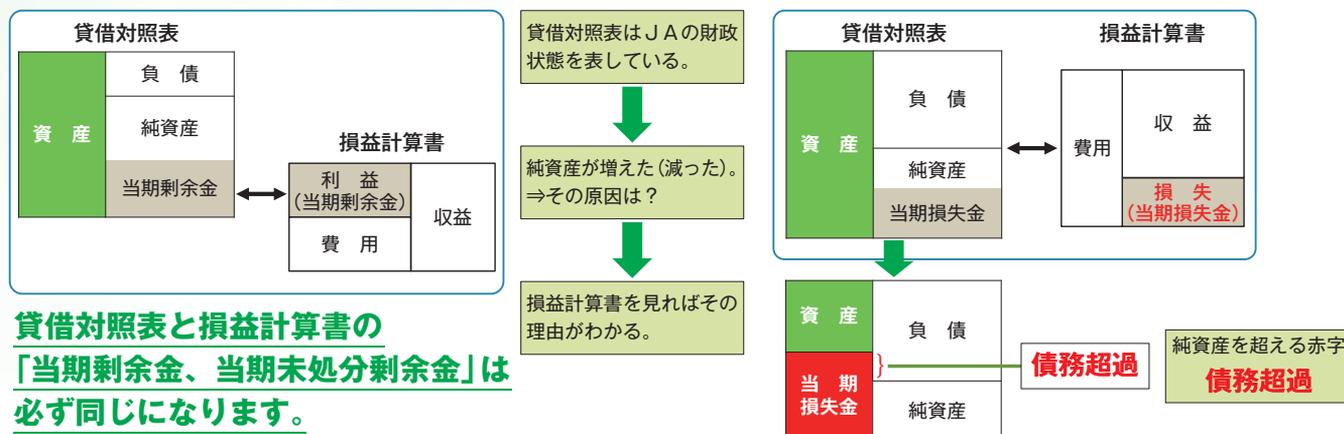
【アンケート内容】

- ・ 貸借対照表の見方が少し分かったので良かったです。県内各JAとの比較において、それぞれについてのJA八戸の自己分析をお願いできればさらに良かったと思う。
- ・ JA八戸の経営内容が理解でき大変良かった。

総代研修会の内容を一部ご紹介いたします

総代会資料のポイント

◆ 貸借対照表と損益計算書のつながり



貸借対照表と損益計算書の「当期剰余金、当期末処分剰余金」は必ず同じになります。

青森県JAの経営概況(令和6年度)

◆ 組合員等の状況

- 正組合員数は県内JA中1位です。
- 正組合員数、正組合員戸数は各JAとも減少に歯止めがかからない状況です。

県内のJA	正組合員数(人)
JA八戸	9,576
A	8,955
B	8,778
C	7,309
D	6,530
E	5,880
F	3,171
G	2,409
H	1,744
I	451
合計	54,803

県内のJA	准組合員数(人)
A	7,239
D	6,138
E	5,276
C	5,086
JA八戸	4,705
B	2,687
F	2,589
H	1,584
G	879
I	385
合計	36,568

県内のJA	自己資本比率(%)
I	23.8
F	21.8
E	17.2
G	17.0
A	16.9
B	15.9
C	15.3
H	14.5
JA八戸	12.2
D	10.0
平均	15.8

県内のJA	出資金(控除後)(千円)
A	6,403,763
E	5,064,790
C	4,081,698
JA八戸	3,416,939
B	2,823,240
F	2,174,192
G	1,987,530
D	1,935,850
H	1,531,223
I	573,500
合計	29,992,725

県内のJA	信用事業総利益(千円)
JA八戸	667,470
E	493,476
A	462,658
C	459,308
B	403,838
D	293,846
H	212,020
F	187,933
G	156,710
I	50,253
合計	3,387,512

県内のJA	共済事業総利益(千円)
JA八戸	604,881
C	560,134
E	547,292
A	479,817
B	445,625
D	335,987
G	248,876
H	208,618
F	202,481
I	44,451
合計	3,678,162

県内のJA	購買事業総利益(千円)
A	1,120,339
C	1,049,817
B	857,969
E	520,650
F	487,893
JA八戸	418,429
G	411,488
D	314,479
I	213,661
H	204,228
合計	5,598,953

県内のJA	販売事業総利益(千円)
C	833,141
A	628,662
B	481,358
E	474,343
F	436,194
G	370,748
JA八戸	355,145
H	257,562
D	224,904
I	67,529
合計	4,129,586

- 正組合員数が多いことを考慮すれば購買、販売事業の伸長を目指し、さらなる自己資本の充実を図る必要があります。
- 「第6次中期3カ年計画」においても、「出向く体制強化」により購買事業、販売事業の未利用者の取り込みに注力していますが、今後も取り組みを維持・強化する必要があります。

プロアイスホッケーチーム 「東北フリーブレイズ」のホームゲームで 農協事業をPR

J Aは、八戸市を拠点に地域で活躍するプロアイスホッケーチーム「東北フリーブレイズ」と2025ー2026シーズンサポーター契約を締結しています。

第6次中期3カ年計画の「地域イベント参加による積極的な地域貢献活動」の一環。地域住民および全国の方々へ広くJ A八戸をアピールし、J Aの理解促進とJ A事業利用拡大、また地域活性化への貢献を目指しています。



▲ 農協事業をPRする職員

1月24日、試合会場である八戸市のFLAT HACHINOHEでJ A八戸のブースを出展しました。来場者を対象に、各事業



▲ アンケートに回答する来場者

のPRチラシを配布したほか、今後のサービス向上の参考とするためアンケートを実施。回答いただいた方へ、ながいもやリングなどをプレゼントしました。アンケートには「お得なキャンペーン情報を知りたい」など寄せられ、J Aに興味を持った様子でした。

参加した職員は「普段、J A八戸のイベントへ来場する層とは違う、子育て世代や若い世代へJ A八戸のPR活動を行うことができました」と話しました。

令和7年産ながいもコンテスト

ながいも専門部は12月25日、八戸プラザホテルプラザアーバンホールで令和7年産ながいもコンテストを開催し、生産者や関係者30人が参加しました。

中里光朋専門部長は「天候不順により折れやすくはありますが、例年よりも品質が良い状況です。高齢化により部会員数も減少し、農協への出荷が年々減少傾向にあるなかで、健康に気をつけて、出荷をお願いします」とあいさつしました。さらに、村山一星指導員が肥料・農薬の試験結果報告を行ったほか、今年の天候における生育状況を説明しました。さらに、上野健太郎販売担当は令和6年産の販売実績や出荷規格の簡素化を行っていくことを報告しました。

日頃の栽培技術を競うコンテストでは、生産者が3本ずつ出品。参加者全員がながいもの形状や品質の審査投票を行いました。投票の結果、若宮達雄さんが第1位に



▲ あいさつをする
中里専門部長



▲ 審査の様子

輝きました。さらに、特大賞は4,140gの平霞満さん(五戸地区)に贈られました。

受賞結果については以下のとおりです。(敬称略)

- 第1位 若宮 達雄(八戸地区)
- 第2位 類家 友也(五戸地区)
- 第3位 木村 蝶子(五戸地区)



▲ 受賞した若宮さんの
ながいも

令和7年度農作業安全講習会

農作業事故防止を目的に、事故事例から学ぶ農作業安全の取組や農業機械の安全操作技術及び機械の整備・点検手法を学びます。



日 時 令和8年3月4日(水) 13:30~15:30

場 所 八戸市農業経営振興センター
住 所：八戸市尻内町字毛合清水29
T E L：0178-27-9163

内 容

講 義 「『命を守る』経営管理としての農作業安全対策」

講師：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農業機械研究部門 システム安全工学研究領域
予防安全システムグループ長 積 栄 氏

実 習 「トラクターの安全操作とメンテナンス」

講師：ヤンマーアグリジャパン株式会社 東北支社
青森アグリサポートセンター長 布施 佳昭 氏

実 習 「刈払機の安全操作とメンテナンス」

講師：株式会社丸山製作所
青森営業所長 沼田 一真 氏

参加申込 右記の二次元コードから、又は、下記申込先へ、
T E L、F A X、メールにてお申し込みください。



二次元コードからの
お申し込みはこちら

お申し込み・お問合わせ先

- ・八戸市農業経営振興センター 担当：田茂
T E L：0178-27-9163 F A X：0178-27-9166
メール：nokei@city.hachinohe.aomori.jp
- ・青森県三八農林水産事務所 農業普及振興室 担当：松田
T E L：0178-27-4444 F A X：0178-27-3323

※本講習会は、八戸市農業経営振興センターと青森県三八農林水産事務所の共催です。

マネロン・金融犯罪対策への取り組み強化について

近年、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきております。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の皆さまも多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策(以下「マネロン・金融犯罪対策」)の重要性が益々高まっております。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客さまの大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取り組みを重要な経営課題と位置づけて、重点的に力を入れて取り組むことといたします。

そのため、金融部金融課にマネロン・金融犯罪対策リーダーを設置し、組合全体としての取り組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取り組みを進めてまいります。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の皆さまに安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

令和8年2月吉日

八戸農業協同組合

代表理事組合長 若林政秀

特殊詐欺被害防止に向けた ATM利用限度額の変更のお知らせ

令和8年2月吉日

お客さま各位

八戸農業協同組合

平素より当組合をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当組合では、社会的に深刻な問題となっている特殊詐欺の発生状況を受け、お客さまが安心してキャッシュカードなどをご利用いただけるよう、被害の発生・拡大を防ぐ対策に取り組んでおります。

このたび、ATMにおいてお客さまの貯金が不正に払い出される特殊詐欺の犯罪が増加していることを受けて、令和8年3月1日に、キャッシュカードなどによる取引時の1日あたりの利用限度額を以下の通り引き下げいたします。

媒体種別	対象取引*1)	変更前	変更後
ICキャッシュカード	IC取引	100万円	50万円*2)
磁気ストライプ キャッシュカード、通帳	磁気取引	50万円	50万円

*1) ATMおよび窓口(ピンパッド)でのお引出し、振込等が対象となります。

*2) あらかじめ設定されている利用限度額から変更されている場合は変更対象外となります。

*3) 限度額の変更を希望されるお客さまは、窓口へお問い合わせください。

お客さまにはご不便をおかけいたしますが、警察庁からの要請も踏まえた対応であり、ご理解賜りたくお願いいたします。



水稻種子の浸漬について

1 育苗の作業計画『田植日から逆算して計画を立てましょう』

例) 中苗(育苗期間35日)の場合



2 種子予措～は種



- ①浸種時の種籾の量は網袋の6～7割程度にしましょう。
- ②催芽はハト胸(芽の長さが0.5～1mm)程度にしましょう。
- ③苗の老化が早まるので、厚まきはやめましょう。

①塩水選

種 籾	比重	水10ℓ当たりの食塩の量
うるち	1.13	2.0～2.1kg
もち	1.08	1.2kg

※温湯消毒を行う場合は塩水選をしない。
※塩水選をしたあとすぐに種籾はよく洗う。

②種子消毒

薬剤名	テクリードCフロアブル
処理方法	
高濃度	20倍液に10分間浸漬する。 (水10ℓに薬剤500ml) 消毒後2日間風乾する。
低濃度	200倍液に24時間浸漬する。 (水10ℓに薬剤50ml) 消毒後2日間風乾する。

※長時間浸漬法は薬液温が10℃以下になると効果が劣る。
浸漬中は2～3回攪拌する。

③浸種



浸種水温の低下を防ぐために、浸種容器を外気温の影響を受けにくい屋内に設置、容器にふたをするなどの工夫が必要ですが、過度の加温や長期間の浸漬は発芽の恐れがあるので行わないようにしましょう。

- 浸種は日平均水温の積算で100℃以上とし、2週間程度を目安とする。
- 浸種中にムラが出来ないように種子は余裕を持って袋に入れる。また、水交換時に袋の上下を入れ替える。
(※最初は浸種2日後、その後は3日間隔で水を交換する)

④催芽

	温度	浸漬時間
風呂の使用	32～33℃	約25～30時間
自動催芽機	30～31℃	約20～25時間

※催芽時の水温は40℃以上にしない。



水稻についてのお問い合わせ

八戸営農センター(中央)	TEL:0178-70-4051	三戸営農センター(三戸)	TEL:0179-23-3811
八戸営農センター(南部)	TEL:0178-83-2781	三戸営農センター(田子)	TEL:0179-20-7711
五戸営農センター(西部)	TEL:0178-78-2003	営農経済部 指導課	TEL:0178-61-6334
五戸営農センター(東部)	TEL:0178-68-2212		

住宅地などの周辺では、農薬の使用に特に注意しましょう！

農薬使用者は、農薬の飛散防止対策の実施に努めなければなりません。

農薬の使用に当たっては、①使用方法など、農薬ラベルの記載事項の遵守、②周囲に影響のない天候(無風・弱風)や時間帯での散布を基本として、以下の対策も実施しましょう！

農地周辺に住宅地や学校などがある場合の対策

- 農薬の使用回数削減のため、耕種的防除などを組み合わせる。
- 飛散低減ノズルや飛散が少ない剤型の農薬を使用する。
- 風向きやノズルの向きに注意して散布する。
- 農薬散布の目的や種類、散布者の連絡先等を回覧板やチラシなどで事前に周辺住民へ周知する。
- 必要に応じて、緩衝地帯や防薬ネット、立入禁止の立て看板などを設置する。
※特に学校や通学路が農地の周辺にある場合は、万が一にも子どもが農薬を浴びることがないように、最大限に配慮する。
- 使用した農薬の種類や使用方法、日時などを記録し、一定期間保管する。

農薬を使用することで、近隣住民とトラブルにならないように十分配慮しましょう！

地域の子どもには特に注意

周辺住民の気持ちも
考えて農薬使用



良好な関係を築くためにも、
事前に連絡を取り合しましょう

近くに農薬に敏感(化学物質過敏症)の
方が住んでいるかも…

—青森県農林水産部農林水産政策課—

お問い合わせは、三八農林水産事務所(農業普及振興室 TEL 0178-27-4444)
またはJ A八戸(指導課TEL 0178-61-6334)にご連絡ください。

クロルピクリン剤の使用後は必ず被覆してください！

農薬使用者は、人畜に危険を及ぼさないようにする責務があり、安全使用に努めなければなりません。クロルピクリン剤の使用では、以下のことを実施しましょう！

作業者の危被害回避のために

- 土壌くん蒸用防護マスク等の保護具を着用する。
- どんな場所でも必ず正しく被覆する。



周辺住民、環境への配慮のために

- 人家や畜舎等に近接する農地での使用を避ける。
- 農地近郊の低位置に人家や畜舎等がある場合は使用しない。
(ガスは空気より重いため、低地に流れ込みます)
- 近くに住宅や畜舎がある場合は、周辺住民に対して使用目的や使用日時等を事前に周知する。
- 使用済みの空き缶等は、周囲に影響を及ぼさない場所で残液、残臭処理後、産業廃棄物として処分する。

クロルピクリン剤は、土壌中で
ガス化して効果を発揮します。

安全で、高い防除効果を得るため
には、施用後すぐに、厚さ0.03mm以上の
シートや難透過性
資材で必ず被覆しま
しょう。



※クロルピクリン剤の購入に当たっては、販売店へ「安全・適正な使用確認のためのチェックシート」を提出しましょう！

—青森県農林水産部農林水産政策課—

JAカレンダー

2026年(令和8年) 3月

1日		17日	●女性部通常総会 (SGグループホール八戸)
2月		18日	水
3日		19日	●木曜の市 (株ぱるじゃサービス本社)
4日	●年金相談会 (下長支店)	20日	●春分の日
5日	●木曜の市 (株ぱるじゃサービス本社)	21日	土
6日	●金曜の市 (株ぱるじゃサービス是川)	22日	日
7日	●ローン相談会 (下長支店)	23日	月
8日		24日	●果樹総合部会生産販売検討会・総会 (八戸プラザホテルプラザアーバンホール)
9日		25日	水
10日	●野菜総合部会総代会 (八戸プラザホテルプラザアーバンホール)	26日	●木曜の市 (株ぱるじゃサービス本社)
11日		27日	●金曜の市 (株ぱるじゃサービス是川)
12日	●木曜の市 (株ぱるじゃサービス本社)	28日	土
13日	●金曜の市 (株ぱるじゃサービス是川)	29日	日
14日		30日	●定例理事会 (営農経済本部) ●株ぱるじゃサービス取締役会 (営農経済本部)
15日		31日	火

得する・役に立つ・元気が出る「家の光」3月号のご紹介



〈特集〉
疲れが取れて、
元気が出る
効果的な休み方
攻めの休養で
活カチャージ

みそ汁で始める
新しい健康習慣
腸活みそ汁



- ・ひと目でわかる！
食と農のいま 第7回
小麦 今も続く“ウクライナ危機”の影響
- ・JA・協同組合がよくわかる！
阿高あやのなるほどレッスン 第7回
JA以外にどんな協同組合があるの？

定価 900円 (税込)

ご購入のお申し込みは各支店窓口までどうぞ!!

定例理事会（1/29開催）

案件

- 議案第1号 役員の補欠選任の実施について
- 議案第2号 監事監査の結果に基づく回答について
- 議案第3号 令和8年産米穀の出荷契約に係る取扱いについて
- 議案第4号 令和8年産米穀の出荷契約金単価設定について

報告事項

- 第1号 組合員の加入及び脱退等について
- 第2号 令和8年度役員候補者地区選挙事務取扱要領の設定について
- 第3号 随意契約に係る価格交渉の結果について
- 第4号 リスク管理モニタリングについて
- 第5号 貸付条件変更について
- 第6号 貯金規定（青森県版）の一部改正について
- 第7号 「JAバンクローン融資約款」「JAバンクカードローン融資約款」「電子契約サービス利用規約」「マイページ利用規約」の制定について
- 第8号 棚卸資産等評価要領の一部変更について
- 第9号 クロスチェックの実施結果について
- 第10号 コンプライアンス・プログラムおよび不祥事未然防止のための行動計画の取り組み状況について
- 第11号 不祥事未然防止にかかる自主検査の結果について
- 第12号 ヘルプラインの運営状況について
- 第13号 反社会的勢力等との取引排除および疑わしい取引にかかる対応状況について
- 第14号 事務ミス等の発生状況について
- 第15号 苦情受付について
- 第16号 情報セキュリティにかかる運用状況について
- 第17号 余裕金運用状況について
- 第18号 理事に対する利益相反取引の状況について
- 第19号 貸出金残高上位先の概況および貸出残高の内訳について
- 第20号 第3四半期末事業実績及び年度末見通しについて
- 第21号 第6次中期3カ年計画進捗状況について
- 第22号 (株)ぱるじゃサービス第3四半期末事業実績及び年度末見通しについて
- 第23号 委員会報告について
- 第24号 人事異動について
- 第25号 各部の業務報告について
- 第26号 常勤役員・参事の主要行事出席と行事予定について

女性部冬期講習会

女性部 まべち・田子支部

フラワーアレンジメント

12月24日、まべち支部が南部支店で21人、田子支部が田子町立中央公民館で19人が参加し、フラワーアレンジメント講習会を行いました。パセリー菜の社員を講師に迎え、「綺麗に生けるコツは、花の顔の面積が広いものから生けていくことです。生ける前に、きちんとシミュレーションをするようにしましょう」とアドバイスしました。部員は、カーネーションやポンポンマムなど10種類を飾り、鮮やかなアレンジメントに仕上げました。



▲ 完成したアレンジメント

参加した部員は「玄関に飾り、良い年を迎えたい」「仏壇に飾るように高さを出してみた」と話し、笑顔を浮かべました。



▲ まべち支部



▲ 田子支部

活動レポート Report

女性部 五戸支部新郷地区

ふれあい農園（そば打ち）



▲ そばを切る児童

新郷地区の部員7人は12月18日、新郷村立新郷小学校で4年生の児童13人と一緒にそば打ちを行いました。

そば粉は、7月に播種し、9月に刈り取ったものを使用。児童は、そばを伸ばし、包丁で細く切るコツを部員から聞きながら、仲間同士楽しく作業しました。

試食すると児童は「とってもおいしくできてよかった。細く切るのがむずかしかったけど楽しかった」と話しました。

JAのすがた
令和8年1月末現在

組合員数	正 9,429人 准 4,749人 計 14,178人
役員	27人
職員 (準職員含む)	288人
出資金	34.7億円
貯金	961億円
貸出金	346億円
長期共済保有高	3,106億円
購買品供給高	30.5億円 (令和6年度)
販売品販売高	94.2億円 (令和6年度)

2025年農林業センサス結果の概要(青森県)(概数値) (令和7年2月1日現在)

青森県の農業経営体数は、2万3,127経営体で、5年前に比べ5,895経営体(20.3%)減少しました。

このうち、個人経営体は2万2,355経営体、団体経営体は772経営体となり、5年前に比べそれぞれ5,877経営体(20.8%)、18経営体(2.3%)減少しました。

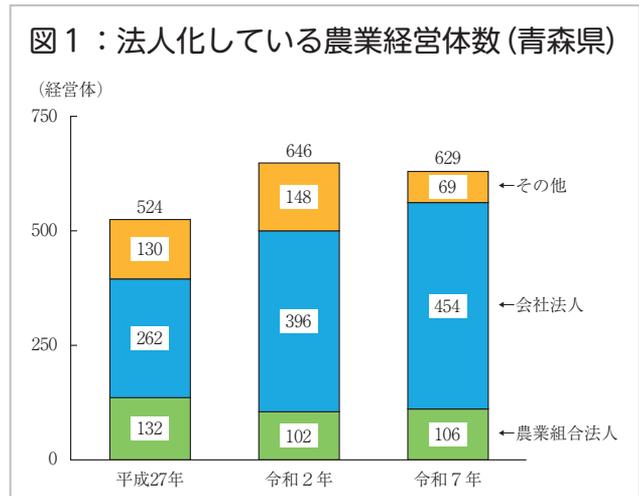
団体経営体のうち法人経営体は629経営体で、5年前に比べ17経営体(2.6%)減少しました。

表：農業経営体数(青森県)

単位：経営体

区分	農業 経営体 ①+②	個人 経営体 ①	団体 経営体 ②	法人 経営体
平成27年	35,914	35,037	877	524
令和2年	29,022	28,232	790	646
令和7年	23,127	22,355	772	629
増減率(%) 令和2年/ 平成27年	△19.2	△19.4	△9.9	23.3
令和7年/ 令和2年	△20.3	△20.8	△2.3	△ 2.6

図1：法人化している農業経営体数(青森県)



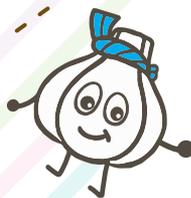
詳細については東北農政局ホームページをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/>



お問い合わせ先 東北農政局青森県拠点 地方参事官室 TEL:017-775-2151

頭の体操

クロスワード



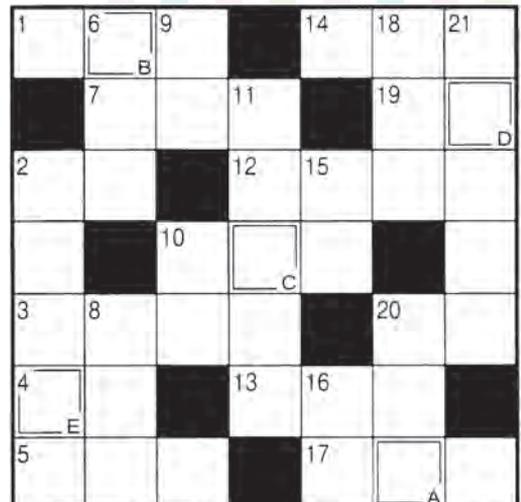
クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

↓ タテのカギ

- 2 卒業生代表が壇上で卒業——を受け取った
- 6 チューナーで選局して聞きます
- 8 わんこそばやじゃじゃ麺で知られる県
- 9 精算するために並びます
- 10 アルファベットの7番目
- 11 通知表ともいいます
- 15 走ること。ウイニング——
- 16 日本庭園の池に似合う魚
- 18 熱波師が活躍しているところもあります
- 20 糖度計の——を読み取った
- 21 夫婦——で旅行に行った

→ ヨコのカギ

- 1 お雑様にひな——をお供えした
- 2 カスが土俵にまくもの
- 3 オーストリアの首都
- 4 眉間に寄せるもの
- 5 スケジュール帳に書き込みます
- 7 ——は小説よりも奇なり
- 10 ——、雷、火事、親父
- 12 タロットカードや水晶玉などを使っておこないます
- 13 出身校をこういふことも
- 14 パーが紙ならチョコキは
- 17 ショートケーキの真っ赤な彩り果実
- 19 鳴門海峡には大きなものが発生
- 20 神社の参拝時に鳴らすこともあります



(出題) ニコリ

▶ 階上町鳥屋部(Sさん)

今回の地震の直接的な被害は少なかったですが、共済金をいただけることになりました。掛け続けてよかった。

編集後記

皆さまから、当JAへの温かいお言葉をいただき大変ありがとうございます。今後も、皆さまが「参加したい」と思う活動を考えてまいりますので、ぜひご参加お願いいたします。②



▶ 田子町田子(Kさん)

地域ふれあい活動、スマホ教室等、地域の方々との交流や、今必要な知識を、JAで活動してくださることに感謝です。雪が多いと除雪が大変です。少ないことを願っています。年を重ねると何でもしんどいです。

▶ 八戸市是川(Aさん)

八戸は津軽に比べると、だいぶ雪が少ないけど、寒いですね。寒いときは、やっぱりJAさんのなべやきうどんを多めに買っておいて食べています。パッケージも気に入っていて、お遣い物に良いです。

皆様の声

皆様からいただいたご意見・ご感想をご紹介します



農家組合員以外の方でも是非ご相談ください!!

ローン相談会

平日はお忙しいお客様と土曜日にご相談させていただきます。ご予約のない方もお気軽にご来場くださいませ。

開催日

令和8年 3月7日 土

時間

午前9時～正午

■ローン相談会のお問い合わせはお気軽にこちらまで
(下長支店) TEL:0178-20-1391

住所:八戸市大字河原木字河原木後10

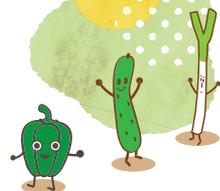
「JAとのお取引はこれから」というお客様もお気軽にどうぞ!!

会場ご案内図



check

情報 掲示板



1月号の当選者

おめでとうございます

賞品の発送をもって当選発表とさせていただきます。

1月号のクロスワードの答え

エ	ホ	ウ	マ	キ	ツ
コ	エ	ソ	ツ	ク	
ア	リ	マ	サ	カ	リ
キ	フ	ブ	キ	カ	タ
ハ	ゴ	イ	タ	カ	タ
バ	ザ	ー	フ	ナ	
ラ	ト	ラ	ク	タ	ー

A B C D
「ゴウカク」

クロスワードの答えの応募方法

ハガキに「クロスワードの答え」と「JAや本誌に対するご意見・ご感想」をご記入の上、どしどしご応募ください。

正解者の中から抽選でグリーンセンター・JA農産物直売所・(株)ぱるじゃサービス各給油所・Aコープ店で利用できる商品券1,000円分を5名様に差し上げます。

郵便はがき
85 039-1101
青森県八戸市大字
尻内町字内矢沢2番地5
JA八戸
総務課行

● 答え
● 郵便番号
● 住所
● 氏名
● 電話番号
● 本誌へのご意見・ご感想
なんでもOKです。

しめ切り

3月15日の
消印まで有効

※ご応募いただいた皆様の個人情報情報は、「皆様の声」コーナーでのご紹介及び、クイズ当選者への賞品発送にのみ、使用させていただきます。

※ご意見・ご感想が記載されていないハガキは抽選の対象から省かせていただきますので、ご了承ください。

JA八戸管内における 青森県東方沖地震の被害状況

令和8年
1月27日
時点

被害受付・調査の進捗

- ・被害報告件数：400件
- ・調査完了件数：385件(調査進捗率：96%)
- ・被害該当件数：258件
- ・被害査定額：147,634千円
- ・うち支払済：116,185千円(支払い完了率：78%)



今回の地震は、発生当初、ご契約者さまから381件被害を受付しており、うち346件(90%)の被害調査を7日以内に完了しております。全体の平均所要日数は約3.7日となりました。

組合員の皆さまの不安を少しでも早く取り除けるよう、現場主義を徹底し、スピード感を持った対応に努めております。

地域の皆さまへ

JA共済は、これからも「地域に寄り添う共済」として、万一の際に安心していただける体制づくりを進めてまいります。

引き続き、被害に関するご相談やお困りごとがございましたら、お気軽にJA八戸までお問い合わせください。

建物プラン (ご契約例 保障の対象(建物))			家財プラン (ご契約例 保障の対象(住宅内家財))	
火災共済金額	濁期共済金額	協定共済価額	火災共済金額	濁期共済金額
1,500万円	50万円	1,500万円	1,500万円	50万円
《任意でん補約付》耐震費用共済金の支払割合10%			《任意でん補約付》耐震費用共済金の支払割合10%	
《住宅物件》このモデルプランの共済例			《住宅物件》このモデルプランの共済例	
水害・耐火A	年払い	月払い	水害・耐火A	年払い
78,425円	6,710円	567円	63,920円	5,463円
耐火B・C	年払い	月払い	耐火B・C	年払い
51,853円	4,431円	369円	45,928円	3,923円
耐火A	年払い	月払い	耐火A	年払い
42,856円	3,666円	305円	41,282円	3,527円